

広報

ただみ

7

2011 月号

No. 494

平成23年7月10日



今月の表紙

朝日小学校のプール開きが6月15日に行われ、全校児童がうれしそうに水しぶきを上げた。この日は天候も良好で、きれいなプールの水に日差しがまぶしく反射していた。入る前に水をかけ合い体を慣らして一斉にプールへ。みんな思いっきり泳ぎまわった。

平成23年度地域人材育成 ダイヤモンドプラン事業・・・2～3

平成23年度只見高校振興対策進路事業……………4～5

平成23年度只見町ブナセンター事業計画……………6～7

只見町農商工風評被害対策協議会 他……………8～11

町の話題……………12～13

『ふるさと只見・人材育成講座』

第2期生～産業を興す人材育成～

第3期生～集落づくり支援員の人材育成～

開 講

昨年度からスタートした「ふるさと只見・人材育成講座」に今年度は、第2期生13名、第3期生14名の応募があり、6月10日に朝日地区センターで開講式が開かれました。式では受講者が自己紹介で講座に取り組み熱い気持ちを述べたあと、2期生、3期生合同の第1回目の講座が行われ「地域づくりと社会福祉の連携」などについての講演を受講しました。新たな受講者の皆さんに、この事業に参加される思いをお聞きしましたので、ご紹介します。なお、両方の講座を受講される方が4名おられます。

趣 旨

平成22年度より教育委員会で各課と連携し、地域人材育成ダイヤモンドプラン事業『ふるさと只見・人材育成講座』を開始しました。この事業は、豊かな人間性ととともに、基本的な知識・専門性・新たな課題への対応など幅広い知識を身に付け、多方面にわたる地域づくりをサポートする人材を育成することを目的としています。この方々を中心に只見町がさらに元気で活気のある地域になることを目指し、本事業を展開してまいりますので、町民の皆さんのご協力とご支援をお願いいたします。

実施期間

平成23年度から平成24年度までの2年間の研修期間となります。(第2期生・第3期生)

今年度のカリキュラム

今年度の研修は左のとおりです。受講者は目標に向けて積極的に研修に取り組んでおります。



第2期生 菅家 大和さん
(只見)

現実的なものから始めたい。来年には農産物加工の試作品を作り商品化させたいと考えている。



第2期生 目黒 芳雄さん
(只見)

今こそ「町・人・考え」を変える最後の時期とし、只見町再生プラン作りに寄与したい。



第2期生 目黒 信さん
(埼玉県在住・只見出身)

只見町の活性化に貢献したい。



第2・3期生 佐藤 順子さん
(叶津)

ふるさと只見町を再発見したい。しっかり受講し自分を磨いていければと思う。



第2期生 高木 正貴さん
(坂田)

2年間の受講により、今後の農業経営に役立てていきたい。



第2期生 伏見 正寛さん
(梁取)

2年間の受講において、貪欲な気持ちで臨みたい！



第3期生 会田 いづみさん
(塩ノ岐)

せっかくの機会なので、多くのことを吸収できたらと思う。



第3期生 渡部 スミ子さん
(小川)

微力ではあるが、縁の下の力持ちになりたい。



第3期生 酒井 みき子さん
(黒谷)

どのような協力をしていけば地域に自分が役立つのか考えていきたい。



第3期生 鈴木 直さん
(只見)

精一杯頑張ります！



第3期生 三瓶 真人さん
(樺戸)

只見町の観光の発展のためにがんばりたい。



第3期生 佐藤 学さん
(只見)

何か、考え方に変化(プラスになるような)がでれば良いと思う。

平成23年度地域人材育成ダイヤモンドプラン事業

第2期生カリキュラム

『産業を興す人材育成』

回数	日程	研修
1	6月10日(金)	開講式 だれでもが地域で安心・安全に暮らすためには！
2	7月1日(金)	ビジネスプランの計画
3	8月9日(火)	地域が欲しいビジネスを作り上げる！ (ソーシャルビジネスを興す)
4	9月7日(水)	柳津町「棚田オーナー制度」 視察研修／意見交換
5	10月12日(水)	カリキュラム作成会議 (受講生主体)
6	12月2日(金)	地域の産業を興す
7	未定	松下政経塾視察研修 (松下政経塾紹介プログラム)

第3期生カリキュラム

『集落づくり支援員の人材育成』

回数	日程	研修
1	6月10日(金)	開講式 だれでもが地域で安心・安全に暮らすためには！
2	7月8日(金)	農村問題の調査、研究を実践発表 (布沢集落での実績)
3	8月2日(火)	地域や社会の問題を 当事者意識を持って解決する
4	9月7日(水)	柳津町「棚田オーナー制度」 視察研修／意見交換
5	10月19日(水)	カリキュラム作成会議 (受講生主体)
6	12月16日(金)	ワークショップ的な会議の進め方
7	未定	松下政経塾視察研修 (松下政経塾紹介プログラム)

23人の 思い...



石橋 明日香さん
第2・3期生
(蒲生)

私が一目惚れした只見町を多くの人に知ってもらい、訪れたい町No.1になる町づくりをしたい。



佐々木 香恵さん
第2・3期生
(只見)

起業に向けて勉強し少しでも町に貢献できたらという一心で希望した。育児と並行し頑張りたい。



三瓶 宏人さん
第2期生
(只見)

活気ある町づくりが出来るように自分自身をダイヤモンドのように磨き一石を投げたい。



山中 美明さん
第2期生
(黒谷)

まだ具体的なプランは無いが、講座を通して実行できるプランを設定したいと思う。



大竹 健一さん
第2期生
(只見)

自身の事業経営のため、只見のこれからのため、ヒントを得たい。



栗城 京司さん
第2期生
(亀岡)

講座で学び町民に伝えていくことで、只見町全体がぶれない意識が持てるように努力していきたい。



松沢 健次さん
第2・3期生
(坂田)

講座を通してできる限りの知識を吸収していきたい。



菅家 成美さん
第3期生
(黒谷)

「人がお互いに気持ちよく元気でいられるような福祉」、自分の活動の中にも活かしていきたい。



目黒 良樹さん
第3期生
(熊倉)

この事業を通して、地域の元気づくりを行いたい。



三瓶 彰治さん
第3期生
(只見)

集落の意見・アイデアを一つでも多く実現化できるように、講座で学び活かしたい。



赤塚 洋介さん
第3期生
(長浜)

多くを学び活かせるようにしたい。



▲只見高等学校3年生の習熟度別授業

自分の進路目標を確実に達成しよう！ 青春の夢実現支援事業

只見高等学校振興対策進路事業として、平成23年度から新たに「青春の夢実現支援事業」が行われます。

この事業は、生徒一人一人が目標とする進路の実現をバックアップし、一人でも多くの生徒が希望する道へと進めることを目的に行われる事業で、夏休みの期間を活用し、3年生の希望者を対象として二つの事業が行われます。

目指せ志望の大学進学

予備校

夏期講習会受講

▽予備校の夏期講習会を受講し第一志望の大学進学に向けて学力を充実させるとともに、受験に對しての強い気持ちを養うことを目的に行われます。

▽対象は……

大学入試センター試験及び第一志望校の一般試験まで受験する意志が固い生徒です。

▽時期は……

8月1日(月)から5日(金)までの五日間です。

▽場所は……

代々木ゼミナール仙台校です。

この講習会には12名の生徒が参

加します。(予定)

公務員試験に強くなるう

公務員

対策講習会受講

▽専門学校の夏期講習会を受講し公務員試験に向けて、学力を充実させ、学習の要領をマスターするとともに、受験に對しての強い気持ちを養うことを目的に行われます。

▽対象は……

公務員への志望が明確で、公務員試験の準備を進めている生徒です。

▽時期は……

8月1日(月)から5日(金)までの五日間です。

▽場所は……

東京法律専門学校仙台校です。

この講習会には10名の生徒が参加します。(予定)

これらの事業のほかに、1年生と2年生を対象とした予備校講師による特別講習会も、7月と12月に同高校で行われます。代々木ゼミナールの専任講師2名による英語と数学の講習会が予定されています。

只見町では、只見高校振興対策事業を推進し、地域とともに生徒皆さんの学力向上と夢実現のための進路目標が達成されるよう応援していきます。

生徒の皆さんには目標とする夢を確実につかんでほしいと願っています。頑張ってください。

只見町青春の夢 実現支援事業について

県立只見高等学校長 鈴木 健司

本事業は厳しい町財政事情にも拘わらず、これまでの本校振興対策事業に追加する形で予算化され、生徒の進路希望実現を目的として、本校雪椿会の下に実施することになりました。実施するのは3学年を対象とした大手予備校進学夏期講習会及び専門学校公務員対策夏期講習会への参加と1・2学年を対象とした大手予備校講師による本校での講習会です。本校では、これまでも就職から進学まで多種多様な進路希望実現を目指して取り組んで参りましたが、本事業はこれまでの取組の隙間を埋めるもので、大変ありがたく思っております。

本校の教育基本方針は社会性の育成と進路希望実現です。社会性の育成については、あいさつの素晴らしさや部活動の活躍に象徴されるように、着実に実績を上げて参りました。一方、高校生の本分は何と言っても学ぶことです。なぜ学ぶかと言えば、将来の生活の基礎を築くためですが、近視眼的には進路希望を実現するためです。本校の学習環境は他に誇れるものと自負していますが、小規模校である事実だけはいかん

ともしがたく、全国的な競争原理に対応しにくい状況であることは皆様ご承知のことと存じます。例えば、これまでも只見で予備校講師による学習会を実施しましたが、全国的なライバルの姿が見えないためか、期待通りの成果を得るのは難しいものでした。

就職、進学いずれにしても希望を実現するためには試験を突破しなければなりません。今夏、大手予備校や専門学校の夏期講習会に参加し、同じ目標を持って頑張るライバルと机を並べて学習できることは大きな励みになるはずですが、只見の地を離れ甘えの許されない環境で、苦しくても頑張れば必ず結果がついてくる事を経験することも、これからの厳しい試験に立ち向かう上で大きな自信となるはずですが。

本校の生徒達は地域の期待に応えるべく最大限の努力をしておりますし、そして結果を残す力を持っております。さらに、本校教職員一丸となって支えていきますので、今後とも、ご理解とご協力くださいますようお願い申し上げます。

— 予備校夏期講習会 受講内容 —

講座内容(例)

時間割	8月1日	8月2日	8月3日	8月4日	8月5日
9:00~10:30	センター数学	センター数学	センター数学	センター数学	センター数学
11:00~12:30	センター英語 【発音・文法】	センター英語 【発音・文法】	センター英語 【発音・文法】	センター英語 【発音・文法】	センター英語 【発音・文法】
13:30~15:00	センター古文 【サテライン】	センター古文 【サテライン】	センター古文 【サテライン】	センター古文 【サテライン】	センター古文 【サテライン】
15:30~17:00	* 自習室または寮に帰り自学自習する。 * 代ゼミ仙台校内に只見高校自習室を1室用意。				
17:30~19:00					
19:30~21:00					

※サテライン(SATELINE)とは、代々木ゼミナールが行う、衛星通信方式の講義システムです。

— 公務員対策講習会 受講内容 —

夏期講習会受講

※講習会終了後は自学自習する。

日付	時間	場所
8月1日(月)~5日(金)	10:00~15:30	東京法律専門学校 仙台キャンパス

只見町ブナセンター運営委員会

6月9日、「ただみ・ブナと川のミュージアム」において、平成23年度第1回目の只見町ブナセンター運営委員会が開かれ、目黒町長はじめ運営委員および事務局職員、17名が出席しました。

目黒邦友運営委員長の司会進行で会議が始まり、あいさつで目黒町長は、ブナセンターの役割について「①自然や教育、健康をテーマにした観光交流の拠点であること。②自然首都、只見町にふさわしい研究、教育の拠点であること」と述べ、今後のセンターの諸活動に期待感を表しました。



▲只見小学校5年生の総合学習授業(6月17日)についての支援

続いて、新任の鈴木和次郎館長があいさつで「これまで只見町を訪れる度に、自然の豊かさに驚かされました。只見町の自然環境は、世界的に見ても貴重な財産であり、保護、保全するとともに、調査研究を重ねていくことが大切です。その成果をブナセンターに蓄積し、情報発信の場、教育の場として活用いただけるよう努力していきたい」と述べ、関係者の理解と協力を求めました。

議事では、平成22年度事業報告のあと、平成23年度事業計画が審議され、主な事業として、8月に予定されている「子どもブナサミット」の内容について意見が交わされました。

また、運営委員からの意見として「昨年度のミュージアム有料入館者数は3千人を超えており、初年度としては健闘している。さらに期待したい」とや「ブナをテーマにした企画を今後も積極的に取り入れてほしい」などの発言がありました。その後、事業報告と事業計画について承認され、閉会しました。

なお、今年度の事業計画は記載のとおりです。只見町ブナセンターをよろしく願います。

只見町ブナセンター友の会総会

只見町ブナセンターの活動を支援、協力する友の会(代表・小沼昇さん)の総会が6月15日、「ただみ・ブナと川のミュージアム」において開かれ、18名が出席しました。友の会は、昨年9月1日に発足し、現在の会員数は113人です。町内を中心に広い地域のメンバーが活動に参加しています。

今年度の主な事業は、会報発行やミュージアム展示物の収集など。ほかにも館内に友の会の掲示板を設けるといったアイデアなども提案されました。会費は1000円(毎年3月更新)です。詳しくはブナセンターまでお問い合わせください。[TEL 72-8355]

只見町ブナセンター運営委員会委員名簿 (平成23年4月1日現在)【敬称略】

職名	氏名	役職名
会長	目黒 邦友	学識経験者(福島県自然保護指導員)
副会長	古川 勝久	// (福島県森の案内人)
	中島 朝長	関東森林管理局会津森林管理署南会津支署長
	伊藤 望	南会津地方振興局県民環境部長
	松本 秀樹	南会津農林事務所森林林業部長
	馬場 永好	只見町小中学校校長会会長
	吉津 政一	// 副会長
	渡部 康人	学識経験者(日本野鳥の会南会津支部事務局長)
	目黒 典子	// (只見町観光まちづくり協会事務局長)

任期:平成22年5月7日~平成24年3月31日(2年)

風評被害に負けない対策を

只見町農商工風評被害対策協議会



▲あいさつをする目黒町長

6月8日に只見町役場本庁で目黒町長はじめ関係者14名が出席し、只見町農商工風評被害対策協議会が開かれました。議事で同協議会の規約が承認され、同日に設立しました。

目黒町長は、あいさつで「原発事故に伴う県内の風評被害は深刻な状況、当町でも協議会を設立し、スピーディーに考えを

共感しながら、有効的な対応策を協議検討し、実施していく」と述べました。引き続き、具体的な対策実施案などについて協議され、取り組み方針や実施事業の内容などを決めました。

今年度から行われる主な対策事業と協議会構成員は次のとおりです。

平成23年度 主な対策実施事業

イベント・キャラバン事業

- ①「自然首都・只見」臨時アンテナショップ開催（7/16～8/14、千葉県柏市）
- ②会津田島～只見間のツアーバス運行（7/1～年度末）
- ③観光PRイベント・キャラバンへの参加（随時）
- ④教育旅行、自然体験学習等の誘致（随時）

情報発信・PR事業

- ①テレビ番組制作協力「イワナ棲む山里 奥会津・只見の釣り旅」（7/17～7/24、衛星放送のスカパーで放送予定）
- ②「自然首都・只見」テレビコマーシャル、新聞広告掲載
- ③ホームページ、ブログ、ツイッターなどによる情報発信運動の実施

震災復興キャンペーン事業

- ①宿泊者へ町内で利用できる「震災復興商品券」サービス（7/20～、先着3,000名、原則1人1泊につき2,000円）

イベント・キャンペーングッズ作成事業

- ①のぼり旗、ステッカー、シール等の作成

その他

- ①風評被害対策アドバイザーの招聘

只見町農商工風評被害対策協議会 構成員（敬称略）

団体名	役職名	氏名
只見町	副町長	久保 克昌
会津みなみ農業協同組合	只見支店長	酒井 邦廣
只見町商工会	事務局長	目黒 長一郎
只見町農事組合連絡協議会	会長	馬場 和正
伊北地区非出資漁業協同組合	参事	吉津 勝夫
南会津西部非出資漁業協同組合	只見支部長	小沼 信孝
只見町旅館業組合	組合長	菅家 和人
只見特産株式会社	代表取締役	横山 修一
株式会社季の郷湯らり	営業課長	小林 晋
株式会社会津ただみ振興公社	取締役支配人	長谷部 浩司
一般社団法人 只見町観光まちづくり協会	事務局長	目黒 典子

目黒町長が会長に就任

只見川電源流域振興協議会定期総会



▲就任のあいさつをする目黒町長

只見川電源流域振興協議会の平成23年度定期総会が6月9日に季の郷湯ら里で行われ、同協議会を組織する只見町、柳津町、三島町、金山町、昭和村、南会津町、檜枝岐村の町村長など関係者が出席しました。

議事では平成22年度の事業報告と収支決算、監査報告があり、続いて平成23年度の事業計画や予算について審議されました。今年度の主な事業は、地域産業の起業をはじめ、奥会津人材育成、シンポジウム、広域観光PR、歳時記の郷基盤整備事業など



▲季の郷湯ら里で行われた総会

どで、いずれも奥会津地域の活性化を目的に取り組まれます。議案の最後に役員選出が行われ新会長に只見町の目黒町長が選任されました。目黒町長は「長い伝統ある協議会で、さまざまな課題もあります。皆様とともに県の支援もいただきながら、奥会津地域の振興について、しっかりと協議していきます。よろしくお願いします」と就任のあいさつを述べました。会長の任期は平成23年6月9日から平成25年6月8日までの2年間で

震災復興に支援の取り組み

只見町青少年旅行村・いいいの森

只見町青少年旅行村・いいいの森では、県内外の小・中学校や保育所などが、宿泊体験による教育活動を行う目的で、旅行村を利用する場合の施設使用料を6月から免除しています。

この取り組みは、震災の影響により県内の各自然の家などの宿泊体験施設が利用困難なことや、原発事故に伴う風評被害対策の一環として行われているもので、具体的な免除の内容は、

入村料やコテージ、東西バンガロー、民家（宿泊施設）の使用料が全額免除となります。

最初に使用料が免除されたのは、6月9日から10日に利用した喜多方市立高郷小学校で同校の4年と5年生、31名が民家に宿泊、野外炊飯活動などを体験しました。

免除期間は平成23年度使用分のみです。



▲野外炊飯活動をする高郷小学校の児童

様式第1号 (第5条関係)

平成 年 月 日

運転免許自主返納支援事業申請書

只見町長

(申請者)
住所 只見町大字 字 番地
氏名
生年月日 年 月 日生
電話番号

福島県公安委員会に運転免許を自主返納しましたので、次のとおり関係書類を添えて申請します。
また、只見町が必要と認めた場合は、運転免許証の返納について、公安委員会に照会することに同意します。

- 公安委員会が発行した運転免許取消通知書又はその写し
- 雪んこタクシー利用券 (枚)
- 住民基本台帳カードの交付
・希望する ・希望しない

※役場に提出していただく申請書です。

高齢者の交通事故を無くそう 運転免許自主返納支援事業

只見町では、自動車などの運転に不安を持つ方や高齢者ドライバーの方が起こす交通事故を減少させることを目的に、運転免許自主返納支援事業を行っています。

この事業の特徴は町民の方が自主的に運転免許証を返納された場合に、その方の日常生活の交通手段を確保するための支援を行うことです。具体的には、

無事故・無違反で過ごした45年間の運転をやめ「雪んこタクシー券」をたくさんもらったことを両親の墓に1枚目を使って報告に行ってください。今後は、病院に、友達に会いに買い物に利用します。ありがとうございました。



▲15人目に返納された渡部千代さん(福井)

雪んこタクシーの利用券を最高で100枚支給いたします。さらに運転免許証に代わる身分証明書として住民基本台帳カードの交付を受けた方には発行手数料を免除いたします。なお、この各支援は、返納されたご本人に対し1回限りとなります。

この支援を受けた方は、専用の申請書に公安委員会が発行する運転免許取消通知書本書か写しを添えて役場に提出してください。現在、運転免許証を自主返納された町民の方は15名で皆さんが支援を受けています。返納をお考えの方は、ぜひご相談ください。

只見町議会

旧只見中学校に暫定移転し6月会議

只見町議会と事務局は、本庁の耐震事情により、6月15日から旧只見中学校の3階に暫定移転しました。

その後、最初の議会、6月会議が6月21日から24日と27日の五日間開かれ、常任委員会、全員協議会、一般質問、議案審議、陳情や請願の審査報告などが行われました。

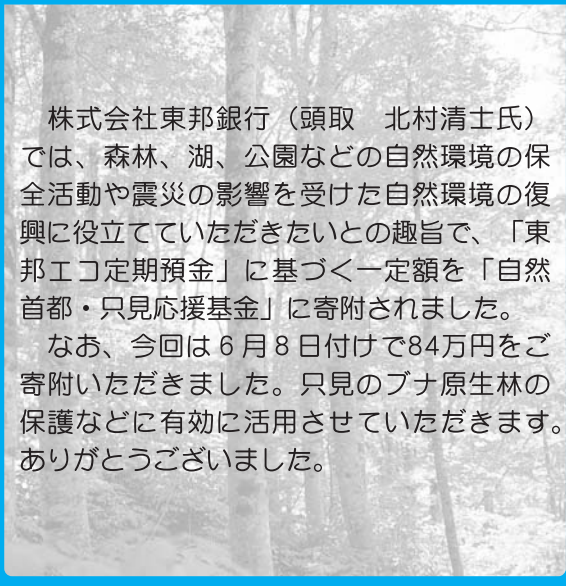
6月会議では、一般会計補正予算など11議案、報告4件、追加1議案を原案のとおり可決し、追加の人事案件1件に同意したほか、議員提案の原発事故に関

する請願の意見書などを採択して散会しました。なお、傍聴も今までどおりできます。



▲旧只見中学校での6月会議

東邦銀行から「自然首都・只見応援基金」に寄附



株式会社東邦銀行(頭取 北村清士氏)では、森林、湖、公園などの自然環境の保全活動や震災の影響を受けた自然環境の復興に役立てていただきたいとの趣旨で、「東邦エコ定期預金」に基づく一定額を「自然首都・只見応援基金」に寄附されました。

なお、今回は6月8日付けで84万円をご寄附いただきました。只見のブナ原生林の保護などに有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

～春の叙勲～ 馬場和正さんに 旭日単光章

▶ 旭日単光章を受章された馬場和正さん



馬場和正さん（蒲生）は、平成元年8月に只見町農業委員になられ、8期目となる現在も活躍されている。平成10年8月から平成22年8月までは会長を務められた。

また、平成元年6月から只見町土地改良区総代となられ、平成16年6月からは伊北漁業協同組合代表理事組合長も務められている。

馬場さんは、農業委員会の指導者として、各種事業の推進に積極的に取り組まれ、地域の農業振興や活性化に尽力されています。さらに町の農政全般にも深く関わり農産物の価格低迷や農村社会の高齢化など厳しい農業情勢の中で農家経済の向上、農業農村の発展のため、現在も献身的に努力されています。

このように、只見町の農業振興に大きく貢献されていることから、旭日単光章を受章されました。



▲ウォーキングを楽しむ参加者

緑の香りと心地よい風のなか健康づくり

只見湖畔健康マラソン&ウォーキング大会

時おり初夏の太陽が鮮やかな緑を照らすなか、6月19日に只見湖畔健康マラソン&ウォーキング大会が行われました。

宮淵公園をスタート、ゴール地点に、マラソン部門とウォーキング部門にエントリーした198名が湖面に映る緑濃い山々を眺めながら、思い思いのペースで一週4.2kmの只見湖周辺のコースを走ったり歩いたりして、自分の体力を確かめながら健康づくりをしました。この日は気温も上昇し、暑い

日でしたが参加者は、さわやかな初夏の風を浴びながら楽しく汗を流し全員が完走、完歩しました。

マラソン部門の優勝者は、▽2km・菅家昭浩さん（黒谷）▽4.2km・矢沢裕也さん（二軒在家）▽8.4km・早田洋平さん（相馬市）▽2km親子ペア・目黒楓華さん／公さん（福井）でした。ウォーキング部門では吉津花恋さん（只見）がラッキードル賞となりました。



防火意識と消火技術の向上を目指す

明和地区防災訓練

グループホーム和の里（小林）からの出火を想定し、6月26日に明和地区防災訓練が和の里周辺で行われ、消防団員、ポンプ車、ポンプ積載車などが出動しました。

今回の訓練は、和の里職員と消防団員が協力し、避難誘導から放水放水や水防訓練を行うことで防火意識と技術の向上を目指すことが目的です。参加した和の里職員や消防団

員は、迅速かつ的確に避難誘導から放水訓練を行い、機械器具の使用法やポンプの送水圧の調節など、消火動作を再確認していました。

一連の消火訓練が終了後、和の里職員による消火栓と消火器の操作訓練や消防団員による土の積み訓練なども行われ、防災への心構えをさらに強化することができた効果的な訓練となりました。



▲放水訓練をする消防団員や和の里職員



会津朝日岳(6月12日)250名参加

山開き

浅草岳(6月26日)70名参加



▲ 蒲生岳の魅力、岩場の登山道

遠 蒲生岳山開き 方からの登山客で山頂は大賑わい

6月5日に蒲生岳山開きが開かれ、160人の登山者が新緑のなか山頂を目指しました。今年、東日本大震災の影響により参加者の減少が心配されましたが、大勢の方々が見守るなか、朝の神事が行われ安全を祈りました。登山道には、可憐なヒメサユリが満開に咲き登山者を和ませていました。また、登山道入り口の休憩所では、トン汁などが振る舞われ、盛り上がりを見せた一日となりました。

み 家庭教育支援事業 みんなですくすく・親子で畑づくり



▲ みんなで苗を植えた畑を前にハイポーズ

親子で協力して何かを作る、手づくりの楽しさを子どもに教えることなどを支援する家庭教育支援事業の一環で、親子での畑づくりが6月12日に町下町民体育館わきの畑で行われました。参加者は保育所から小学生までの子どもとそのお母さんなど11名。みんなで協力してサツマイモの苗をやさしく丁寧に植え、かわいい看板を作って、植えた苗のそばに立てました。秋の収穫が楽しみです。

緑 さなぶり健康ウォーキング をながめ楽しく歩いてリフレッシュ

朝日地区センター運営委員会の主催で、6月5日に「さなぶり健康ウォーキング」が行われました。歩くことの習慣づけに役立てようと企画されたウォーキングには29名が参加、その中には震災で葛尾村から避難されている方も10名ほど参加され、春の景色を楽しみながら、全長5kmの道のりを思い思いのペースで歩きました。ゴールのあとは、温かいなめこ汁とおにぎりなどを、みんなで食べました。



▲ 上福井地区の八幡神社を散策する参加者

雨 森林に親しむ集い&ノルディックウォーク に潤う深緑のなかを散策



▲ 緑に囲まれた遊歩道でのノルディックウォーク

只見の森林に親しむ集い&ノルディックウォークが季の郷湯ら里と比良林つつじ公園周辺の森林で6月26日に行われ、県内から30名が参加されました。講師は東京農業大学教授の上原巖氏と全日本ノルディックウォーク連盟指導員の方で、参加者はストックを使った全身運動のウォーキングを体験しながら、雨に濡れた森林の景色を楽しみ、ブナ林の緑に癒されていました。

旬 山の幸山菜まつり の山菜いっぱいの料理に大満足！

6月5日、塩沢農村公園で塩沢観光協会が主催する「第15回山の幸山菜まつり」が行われました。当日は天候も良好で、県内外から大勢の参加者がわらび園で山菜を採り、その後農村公園に移動、無料で振る舞われた山菜汁、赤飯のおにぎり、地酒を堪能。大満足の様子でした。また、わらびのアク抜き実演では、参加者が興味深く見入っていたり、採れたての山菜を買い求める方もたくさんいました。



▲ 大勢の参加者が詰めかけたまつり会場

健 運動講習会 健康づくりに効果的な運動を



▲ 笑顔で健康づくりに臨む参加者

筋力を維持増進できる運動、関節などの痛みを予防・軽減する運動などを行う運動講習会が全6回の計画で開かれ、6月28日に朝日地区センターで行われた第3回の講習会には12名が参加、この日はヘルスケアトレーナーの大内真樹子さんによるストレッチ運動やボールを使つての筋力トレーニングが行われ、参加者は楽しく体を動かしました。最終回には運動の成果を確かめる体力測定もあります。



Anna先生のLife in JAPAN Vol.7

■Anna・George
1987年生まれ。英国ノーフォーク出身。
2010年8月から只見町英語指導助手。
小学校と中学校で語学の指導を行います。

ていた姿をみて、すごいなあと思つています。毎日、一生懸命部活動に取り組んでいます。すべての部活が、郡大会を突破し、全会津大会に出場できたことを本当にうれしく思います。

5月から、小学校訪問の機会が増えました。只見町内の小学校を頻繁に訪れることは楽しいし、子どもたちの英語力の向上を見て回ることができます。新1年生との出会いも、英語を学ぶことにわくわくしているようで、楽しいものでした。また、

夏が早くもやってきたようです。また、ジメジメした季節になつていきます。あちこちに雪があつたなんてずっと前のことみたいです。だから夏を楽しみにしています。今年、ハーブや野菜を育てていて、いい感じに育つてきています。まだまだ家庭菜園初心者ですが。

6月はとても忙しい月でした。南会津郡の中体連を見に行くことができました。中体連や各種大会で只見中の生徒がどんなによくがんばっていたかと思うと、うれしい気持ちでいっぱいです。どんなに暑くても、寒くても、大会に向けての練習をがんばつ

いることに驚きました。学校でのお昼休み時間に、小学生は新しい遊びを私に教えてくれ、一緒に遊んでいます。とっても楽しく有意義に交流しています。でも、私と同じことをすると、すぐに息が上がってしまうんです。

7月も忙しい月になることでしょう。郡内の新しいALTたちに6月末に初めて会いました。新しいALTが来て、南会津に住むことはとても楽しみだけれど、今いる友人たちが南会津から去ってしまうことは寂しいです。(訳・只見中・福地)

広報ただみ診療所

朝日診療所 医師 湯田 孝之

『鼻出血について』

効果はありません。

それでも止血しなければ病院を受診していただくのが適切です。病院では止血剤が

での圧迫などで処置を行います。それでも止血できない

場合や、鼻の奥からの出血の場合は止血が困難となり、耳

鼻科を受診していただくこともあります。耳鼻科では破れた

血管を電気や化学薬品で焼く治療などを行います。出血

が大量の場合は、入院による治療が必要となることもあります。今後は鼻出血を繰り返

すような方で、治療の適応と思われる方には当診療所でも

化学薬品で血管を焼く治療ができるように準備をすすめて

おります。

対処で一番大事なことは、

慌てず、落ち着いて、適切な場所をしっかりと圧迫すること

です。受診するまでの間もし

っかり鼻を圧迫するように、

よろしく願います。

4月より赴任いたしました湯田孝之と申します。よろしくお願ひします。今回は「鼻出血」についてお話をさせていただきます。

鼻出血は日常的によくある症状で、自宅で止血できれば、ほとんどの方は

病院には、いらつしやらないと思ひます。そのため病院に

来る方の多くは、「出血が止まらない」「繰り返し出血する」

「大量に出血したため不安」という状態です。鼻出血は子

供なら多くは鼻いじりやアレルギー性鼻炎が原因です。大

人の場合は高血圧や肝硬変、バイアスピリンやワーファリ

ンなどの血液サラサラの薬を飲んで

いることが大量出血の原因になりやすいため、注意

が必要です。

自宅での対処についてですが、鼻出血のほとんどは鼻中

隔(鼻の穴の左右のしきり)の鼻の入り口から1cmぐらい

の位置から出血します。まず、慌てずに座ったまま前かがみ

の姿勢を取り、のどに流れた血液は飲み込まず口から出す

ようにします。飲み込むと吐き気や腹痛の原因となります。

次に、親指と人差し指2本で左右から鼻中隔をはさむよう

に小鼻をつまんでしっかりと圧迫します。たいていは10分程

度の圧迫で止血が可能なので、途中でゆるめずにしっかりと

迫してください。座るのが難しいければ横向きに寝ても構い

ませんが、頭上向きや仰向けはのどに血液が流れ込むため

避けてください。ティッシュは止血効果が弱く、場所がず

れば止血効果がなくなりま

すし、鼻の付け根をつまむ、首の後ろをたたくなども止血

町史

とっておきの話

204

長岡・河井継之助記念館友の会会員
高梁方谷会会員

小名 泰 裕

感動、そして出会い

二〇〇八年九月十三日、「近代の峠を越えて〜河井継之助が見た風景〜」というテーマで、シンポジウムが開催されました。場所は、季の郷・湯ら里です。記念講演は歴史作家の半藤一利氏が話され、その後、司会も含め五人の歴史研究者でパネルディスカッションが



河井継之助をテーマに只見町で開かれたシンポジウム(平成20年9月13日)

行われました。

講演で、半藤さんは「河井継之助はあれほど開明的であったが、幕末時に、一歩も二歩も出遅れた。残念です。時の運がなかった」と話されています。

パネルディスカッションは、司馬遼太郎記念館の増田恒男氏、京都霊山歴史館の木村武仁氏、会津若松からは間島勲氏、地元只見からは飯塚恒夫氏が登壇され、司会は長岡河井継之助記念館の稲川明雄氏でした。

増田さんは、司馬遼太郎のことや司馬遼太郎記念館友の会で行った「好きな司馬作品」のアンケートのことを話されました。アンケートでは、『峠』が五位になり新選組の土方歳三を描いた『燃えよ剣』より上位であったとのことでした。木村さんが言うには、霊山歴史館で河井継之助をテーマにした講演会で、長岡から団体が来られて驚いたと話されました。間島さんは、幕府奥医師だった松本良順が河井継之助を只見で診たという資料が残っていることを説明されました。地元の飯塚さんは「只見の目明し清吉の家屋で、河井継之助は村民の何かに感動したのではないだろうか。それで無理だと分かっ

いながら会津若松に向かったのだと思う。只見の人たちは、河井継之助に何か影響を与えたに違いない」と話してくださいました。

司会の稲川さんは「只見の人が見た河井継之助は立派な人であったから、只見の村人は終焉の間の継之助を見ていたに違いなく、感動したのではないか」と思われたそうです。

只見の飯塚さん、長岡の稲川さんという河井継之助研究家のふたりが、共に河井継之助と只見の村民の双方が感動したと言っておられます。

私はこの感動について考えたのですが、その手掛りになることが只見河井継之助記念館に掲示されている小沼前町長の『あいさつ文』に見つけました。

挨拶文を読むと「継之助の義の精神に只見の人たちが感動した」と書いてあり、それに対して河井継之助は「只見の人たちの、身分を超えた優しい心根」に感動したのではないかと書いてあります。

この挨拶文の「おもしろい」ところは、この記念館は決して河井継之助の悲運を憂いて出来たのではなく、継之助と只見の人びとの出会いを記念するために造られ

たとあります。すごく洒落た挨拶文だと思えます。

私も含め継之助ファンは、この記念館に来ると河井継之助の悲壮な最期を覚えてしまい、「感動」とか「出会い」とかの言葉はなかなか思いつきません。

河井継之助と只見の村人との「感動」がこの「出会い」を後世に残し、そして記念館を造らせたのだと思います。

河井継之助は、あれほど先見性がありながら悲運な死を迎え、運のない侍と生きていたのですが、継之助の死の百年後、小説『峠』が世に出、そして生誕の地、終焉の地に記念館をもち、その死さえも感動に変えてしまったことを考えてみるとこれほど運の良い武士もいないのではないかと感じてしまいます。

さて、今回でもって「町史とっておきの話」を終わりにしなければいけないことが残念です。六カ月間という長いような短い期間でしたが、只見と河井継之助についてこれほど考えた時間はありません。自分自身にも新しい発見もありました。このような場を与えてくださった只見町の皆様に感謝いたします。



町民文芸

只見短歌会

五月詠草

大塚栄一

指導

緋の衣今年も取り替へ六地藏を守りてくるる主婦に礼言ふ

五十嵐夏美

馬場 八智

被災者の移り住みしか洗ひ物空き家の窓に多く干さるる

皆川 恒子

ロシア人の妻とその母伴ひて甥の訪れ茶の間賑はふ

古川 英子

ふる里の母亡き今年も筍を義妹掘り起し届けてくれぬ

目黒 富子

同じ桃の実生を育て咲きたればそれぞれ違ふ花の色持つ

渡部ゆき子

鯉幟わが集落に一つのみ立ちて少子化を侘しく見上ぐ

吉津 政枝

贈られし師よりの歌集読み継ぎて挫けしわれの気持ち励ます

齊藤ちひろ

ほつれ毛を撫で上げ赤く沈む目を眺めて太き大根を抜く

渡部ヨリ子

無意識に雑草抜きし手の中の一輪の花を瓶に挿したり

新国 洋子

植ゑ替へし石南花の鉢重からむ棚に上げつつ夫はよろめく

(出 詠 順)

只見俳句会

六月例会

目黒十一

指導

老鶯や妻いくたびか手庇を
遙かなる稜線のもや夏立ちぬ

隆 堂

早苗田に水張る夕べ空焼けて
藪椿やうやく咲いて五月かな

一 穂

桐の花匂う乗車の無人駅
踊花ままごと遊びの頃をふと

邦 夫

今朝山に採れし蕨を食卓に
朝な夕な山菜づくしのお膳にて

敦 子

離農する思案しており朴の花
はつ夏や息やわらかきセラピー犬

笑 羊

水底の夏雲ちらす池の鯉
ひとときまりせし上弦の月涼し

礼

しみじみと畳踏みしむ素足かな
雲の峰人はもくもくペンキ塗る

康 女

小満や娘ヘルパーへおれ
春蘭や告別式の御使い

邦 男

万緑や小さき部落に空家増え
一升の笹巻結う手変わりなし

リウコ

空梅雨や貞観震災千年忌
水はみなみんなのものよ水芭蕉

恒 夫

げんこつを開いて閉じて藤の花
朴の花ごくあたり前を良しとする

都

蓮浮葉柩の窓に紅を引く
安住のまほろばの郷舞雲雀

吉 児

あと少しもう一本と蕨狩
面長も丸顔もありチュウリップ

洋 子

今月のお知らせ

電話番号

総務企画課	
総務班	☎82-5050
企画班	☎82-5210
民生課	☎82-5220
税務班	☎82-5110
町民班	☎82-5100
保健福祉課	
保健班	☎84-7005
福祉班	☎84-7010
産業振興課	
農林班	☎82-5230
交流推進班	☎82-5240
環境整備課	
地域整備班	☎82-5270
生活環境班	☎82-5280
会計室	☎82-5120
議事事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所 (歯科)	☎84-2221
朝日診療所 (歯科)	☎84-2612
訪問看護ステーション	☎84-2130
こぶし苑	☎84-2101
保健福祉センター	☎84-7005
只見地区センター	☎82-2141
朝日地区センター	☎84-2111
明和地区センター	☎86-2111

只見町職員 (高校卒程度・看護師) 採用候補者試験

平成24年度只見町職員(高校卒程度・看護師)採用候補者試験を行います。

一般事務職	1名程度
看護師	2名程度

一、職種及び採用予定人員

二、受験資格(学歴不問)

【一般事務職】

平成2年4月2日から
平成6年4月1日まで
に生まれた者

【看護師】

昭和53年4月2日から
平成4年4月1日まで
に生まれた者で看護師(又は看護婦(士)の免許を有する者、又は平成24年3月末までに取得見込みの者

三、試験の方法

【一般事務職】

高校卒業程度で次により行います。

①第一次試験

教養試験及び各種適性検査

②第二次試験(二次試験合格者)

小論文、面接等による試験

【看護師】

短大卒業程度で次により行います。

①第一次試験

教養試験、専門試験及び各種適性検査

②第二次試験(二次試験合格者)

小論文、面接等による試験

四、第一次試験の日時、場所

【一般事務職】

▽日時
平成23年9月18日(日)
午前9時受付

▽場所

福島県立田島高等学校
(南会津町田島字田部原260)

【看護師】

▽日時
平成23年9月18日(日)
午前9時受付

▽場所

福島県立田島高等学校
(南会津町田島字田部原260)

五、発表

役場掲示板に合格者番号を掲示するほか、本人に通知します。

六、採用

合格者は任用候補者名簿に登載され、成績順に町長が採用者を決定します。(この名簿の有効期間は一年間です)

七、受験手続及び受付期間

①申込用紙の請求
申込用紙は役場総務企画課、朝日及び明和地区センターで交付します。

八、申込方法

②申込方法は、役場総務企画課に提出してください。



虫歯のない子

6月10日
3歳児健診

かんげがくと
菅家 岳人くん
(黒谷)

（郵送による場合は、返信用封筒を同封してください）

③受付期間
平成23年7月13日から8月12日まで。（郵送による場合は、8月10日までの消印のあるものに限ります）

▼問い合わせ
総務企画課総務班
☎0241-8215050

震災特例旅券について

東日本大震災によりパスポート(旅券)を紛失・焼失された方は、これら旅券が不正使用される可能性もあるため、紛失届の提出をお願いします。

都道府県旅券事務所では、平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により自宅が滅失したり損壊するなどしてパスポートの紛失届を提出された方が希望する場合、紛失したパスポートの残存有効期間を限度とする震災特例旅券を(国の)手数料なしで発行する特例措置を行なっています。

詳しくは、福島県パスポートセンターまたは県内各地方振興局パスポート窓口におたずねください。

照会先：福島県パスポートセンター 電話024-525-4032
南会津地方振興局 電話0241-62-5225

税 今月の納期

- 7月25日までに納めましょう
- 固定資産税(2期)
- 国民健康保険税(1期)
- 農集排使用料(7月分)
- 介護保険料(1期)

みんな
集まれ!

子どもブナサミット

～震災ニモ負ケズ、原発事故ニモ負ケズ、ブナ林ト共ニ生キル!～

将来、貴重なブナ林を託される全国の子どもたちが集まって、「第3回子どもブナサミット」を開催します。今回は、東日本大震災による地震や津波の被害、そして原発事故によって避難を余儀なくされている子どもたちも招待し、ブナ林と一緒に散策しながら、自然の豊かさを体験してもらおう機会にしたいと考えています。

●日時 平成23年8月20日(土)～21日(日)

●スケジュール

20日(土) 会場：季の郷・湯ら里

13:00 開会
13:20～14:10 講演 河野昭一先生(京都大学名誉教授)
テーマ 「ブナの生活史、分布、重要性」
14:25～15:50 小学生によるブナ報告とディスカッション
16:00 閉会
17:00～19:00 バーベキュー懇親会

21日(日) 会場：癒しの森(布沢地区)

8:30 集合場所「森林の分校ふざわ」
9:00～11:00 「癒しの森」に移動して班別にブナ林を散策
11:00～11:15 河野昭一先生からのまとめ
11:30～12:20 昼食
12:20～12:30 「只見宣言」
12:30 閉会

●出席する子どもたち

【町内】 各小学校6年生 【町外】 小学校高学年33名 保護者24名(予定)

●自由参加について

子どもから大人まで、誰でも自由に参加できます。(参加費は無料)
*8月20日の講演会は予約不要です。当日会場にお越しください。
*8月21日のブナ林散策は事前に只見町ブナセンターにお申し込みください。
(小学生以下は保護者同伴となります)

お問い合わせは



ただみ
ブナと川のミュージアム

Tel 0241(72)8355 fax 0241(72)8356

〒968-0421 只見町大字只見字町下2590番地

「ただみ・ブナと川のミュージアム」内

webサイト: <http://www.tadami-buna.jp>

E-mail: info-buna@amail.plala.or.jp

東日本大震災復興支援事業 —ステッカーを販売—

只見町商工会青年部では、3月に発生した東日本大震災の復興支援として、自動車などへの貼付用ステッカー(マグネット付)を作成し販売しています。



このステッカーの売上金から製作費を除いた全額は、日本赤十字社を通じて被災者への義援金に充てられます。

ステッカーの金額は、全種類1枚1,000円です。皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

●販売時間…午前8時30分～午後5時(平日に限ります)

●販売場所…只見町商工会(只見字宮前)

●ステッカーの種類

がんばろう日本!

Don't give up japan

東日本大震災復興支援プロジェクト
只見町商工会青年部

「がんばろう日本」ステッカー(縦8cm×横28cm)

がんばろう福島!

Don't give up Fukushima

東日本大震災復興支援プロジェクト
只見町商工会青年部

「がんばろう福島」ステッカー(縦8cm×横28cm)



「がんばっぺ! ふくしま」

さくらマークステッカー

■問い合わせ先 只見町商工会青年部

電話 0241-82-2380

町長室日誌

〈6月分〉

- 2日 東日本大震災に関する福島県町村会特別決議に基づく国への要望活動
- 3日 補正予算町長査定
- 4日 全日本小学生バレーボール大会
- 5日 蒲生岳山開き開会式、塩沢山菜まつり
- 6日 奥会津五町村活性化協議会役員会
- 7日 定例庁議
- 8日 農商工風評被害対策協議会、南会津地方広域市町村圏組合協議会臨時会
- 9日 ブナセンター運営委員会、奥会津五町村活性化協議会定例総会、只見川電源流域振興協議会定例総会
- 10日 地域人材育成ダイヤモンドプラン事業第2・3期生合同開講式、臨時庁議
- 12日 朝日岳山開き、東日本大震災応援チャリティーさなぶりじょんがら祭り
- 14日 会津縦貫南道路整備促進に係る地方要望活動
- 15日 南会津地方への観光誘客促進のための旅行代理店に対する要請活動
- 16日 臨時庁議
- 17日 災害模擬体験学習
- 19日 只見湖岸健康マラソン&ウォーキング大会
- 21日 只見町議会6月会議開会(～27日)
- 26日 浅草岳山開き
- 29日 滝調整池堆砂対策連絡協議会、只見川ライン観光協会総会、只見町文化協会総会
- 30日 官行造林地現地視察、勤労者互助会理事会、勤労者互助会総代会、町職員労働組合定期大会

町民の消息

(6月1日～6月30日届出分) 敬称略

■お誕生おめでとうございます

角田 陽咲 (ひさき)
(女/昌也・一恵) 布沢
馬場 慈 (いつく)
(男/誠・麻美) 塩ノ岐

■おくやみ申し上げます

長谷川 ヒ □	97	福井
菅 家 實	75	布沢
鈴木 康 平	92	黒谷
入 谷 マツ子	81	蒲生
目 黒 テル子	67	石伏
目 黒 徳 野	102	長浜
若 林 スミエ	86	蒲生
目 黒 長 平	90	只見
飯 塚 岩 夫	92	大倉

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごま

平成23年6月1日現在

人 口	4, 8 6 1	(-9)
男	2, 3 1 7	(+2)
女	2, 5 4 4	(-11)
世帯数	1, 8 6 2	(-1)
高齢化率	4 1 . 4 %	

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 15 転出 17 出生 0 死亡 7

▽上福井地区の土地改良事業に伴う工事が着々と進んでいます。毎日農免道路を通るので、子どもの頃から見慣れた田園風景が広範囲に姿を変えていくところを確認できます。今までの小規模な田んぼが、新たに区画整理され、日ごとに大規模な農地へと整備されていく光景は圧巻です。その工事の早さにも驚かされます。きれいに整えられた大きな田んぼを目にするのが楽しみな気がします。今秋には竣工の予定です。▽暑い日が続いています。熱中症に注意してスタミナつけて、夏を乗り切りましょう。

あとがき

- 1、 ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、 互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう
- 1、 産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、 教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、 きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう



まちづくり推進員
渡部 敦子

明和地区センター
図書室 ☎86-2111

おすすめ新着図書

★おへそのひみつ



やぎゆうげんいちろう / 著

(福音館書店)

おへそってなんであるの？ おなかのおまけ？ おなかのかざり？ 雷さまのおやつかな？ なんでも1個しかないのかな？ そんなおへその「？」に答えます！同シリーズの『かさぶたくん』『あしのうらのはなし』『おっぱいのはなし』『はなのあなのはなし』も購入しました。

★ぼくらの七日間戦争 他「ぼくら」シリーズ中学生編全11巻



宗田理 / 著 (ポプラ社)

累計1500万部を売り上げたベストセラーシリーズ。抜群のアイデアや行動力で、子どもたちが、ずるい大人たちをやっつける痛快学園ストーリー。発売以来20年間色あせない、恋愛や友情などのカラフルな魅力もいっぱいです！

★くじけないで



柴田トヨ / 著 (小学館)

詩人・柴田トヨ、99歳の処女詩集。彼女が詩作を始めたのはなんと90歳を過ぎてから。大人になって「何かを始めたい」と思っても、「いい年して今さら…」と、昨日と同じ今日を過ごしてしまいがちですが、人生の大大大先輩に「いつだってこれから！」なんて発破かけられたら、頑張る気も起きるといふもの。「九十八歳でも／恋はするのよ／夢だってみるの／雲にだって乗りたいわ」。まっすぐに瑞々しい言葉の数々に、温められたり、背中を押されたり。

★旧明和支所内にある図書室を整理し模様替えをしました。本を選びやすいように心がけたので、ぜひのぞいてみてください。地区センターロビーのあづま号図書と3地区センター巡回図書(現在は朝日地区センターからお借りしています)もぜひご利用ください。返却は最寄りの地区センターどこでも可能ですので、お気軽にどうぞ！

ハクウンボク (*Styrax obassia*)

<エゴノキ科>

6月の只見、梅雨の時期に、森の緑が濃さを増す中で、ブナ林や谷沿いなどの林縁部を中心に白い花を際立たせている樹木があります。ハクウンボクです。ハクウンボクは、エゴノキ(*S. japonica*)の仲間ですが、エゴノキに比べ葉のサイズは、かなり大きいです。花の形状はよく似ていますが、花序に数多くの花をつけるため、より派手に見えます。また、花の時期もエゴノキに比べ、やや早いようです。ハクウンボク(白雲木)の由来は、樹上で白い花が満開になった様子があたかも白雲のようであるところから名づけられています。



特別展示

○世界のブナ展

～只見から世界まで～

期間:平成23年7月16日(土)～9月30日(金)

問い合わせ

○只見町ブナセンター TEL0241—72—8355

○只見町産業振興課交流推進班 TEL0241—82—5240

※この広報紙は再生紙を使用しています

イベントカレンダー

7月

16日(土)

「伊南川・アユ釣り解禁」

30・31日(土・日)

「水の郷まつり」

31日(日)

「自然首都・只見トリムウォーク
&トリムラン」

8月

16日(火)

「河井継之助墓前祭」

27日(土)

「100万人のキャンドルナイト
in只見」

▼只見の新鮮な野菜、山菜は観光客の方
はもちろん、地元の方にも人気です。
ひんのめえ市に出品してみませんか。
お気軽にお問い合わせください。

▼問い合わせ

一般社団法人

只見町観光まちづくり協会

☎0241-82-5250

営業時間 午前8時半～午後6時

(年中無休)

※環境にやさしい大豆油インキを使用しています